

平成 26 年度事業ならびに活動計画

特定非営利活動法人 安全工学会

1. 事業活動方針

産業に係わる安全の諸問題を広く工学的に調査・研究し、各種災害の防止のための知識・技術の向上及び普及を図るため、以下の活動内容にて活動する。

「保安力向上センター」は平成 25 年度と同様、さらなる保安力評価システムの運用・改訂を諮ると共に、保安力向上に関わる技術者の養成に注力する。

国際大会 WCOGI2014 の開催に向けて注力する。

維持・賛助会員の安全に資する活動を強化する。

2. 事業内容 特定非営利活動に係る事業

2.1 安全工学に関する研究・教育事業

①安全工学研究発表会

安全工学研究成果の発表会を主催する。

開催月日：平成 26 年 11 月末 2 日間

開催場所：関東圏近郊（場所未定）

参加予定者：250 名（延べ）

②WCOGI2014

安全工学主催により開催。

開催月日：平成 26 年度 6 月 8 日（日）～10 日（火）

開催場所：岡山コンベンションセンター

参加予定者：250 名（延べ）

③研究・教育事業管理

対象委員会・研究会

学術委員会 2 回

安全工学研究発表実行委員会 2 回

WCOGI 関連委員会 数回

（実行委員会、IPC 委員会、NOC 委員会）

医療安全研究会 4 回

廃棄物安全研究会 3 回

2.2 安全工学に関する普及啓発事業

2.2.1 一般普及事業

（1）会誌発行 “安全工学”

発行回数 年 6 回

(2) 講習会・セミナー

① 第 36 回安全工学セミナー

物質危険性講座 平成 26 年 9 月 2 日間
危険現象講座 平成 26 年 10 月 2 日間
プラント安全講座 平成 26 年 11 月 2 日間
安全マネジメント講座 平成 27 年 1 月 2 日間
実施予定場所 砂防会館会議室又は化学会館会議室
参加募集人員 各回 30 人

② 安全工学地域セミナー

開催月日 平成 27 年 1-3 月 予定
実施予定場所 西日本地区（詳細未定）
参加募集人員 30 人

③ 安全管理の最新動向講習会

開催月日 平成 26 年 5 月 2 日間
実施予定場所 化学会館
参加人員 30 人募集

④ 安全工学実験講座

開催月日 1 回 平成 26 年 5 月～6 月 2 日間
実施予定場所 日本カーリット（株）
参加募集人員 20 人

⑤ 災害事例研究会

開催月日 2 回、半日/回、平成 26 年 7 月開催予定
平成 26 年 12 月開催予定
実施予定場所 化学会館
参加予定人員 各回 35 人

⑧ 普及啓発事業管理

対象委員会・研究会等

編集委員会 12 回

普及委員会 4 回

(3) 経営者安全懇談会 3～4 回

工場長による安全検討会を各地区で予定する。

(4) 図書販売・会誌の年間購読販売

法人事務所にて

2.2.2 普及啓発事業：保安力向上センター

我が国の現場力を高め、産業の安全性を向上させるためには、現場の技術基盤並びに安全文化の醸成が不可欠である。

そのため、保安力評価システムの改訂、保安力向上に係る技術者の養成並びに情報の収集・提供、普及啓発を行うこと

により、事業者の保安力向上を図り、もって国民安全及び地域社会の健全な発展に貢献する。

(1) 保安力評価システムの運用・改訂と多機能化

平成 25 年度に引き続き、会員企業に対するセンター評価、保安力を希望する企業に対するセンター評価、データ解析並びに同システムの改善等を行う。

平成 25 年度に引き続き、企業ニーズの高い加工・組立分野等について、試行と改善を図る。

(2) 保安力向上に係る技術者の養成

各種研修、自己評価、センター評価を通じ、保安力推進委員の力量向上を図る。一般向けの安全研修の充実を図る。

(3) 保安力に関する情報の収集、提供並びに普及啓発

平成 25 年度に引き続き、フランス産業安全文化研究所との交流強化、安全情報の収集、提供並びにマスメディア、HP 等を通じた保安力の普及啓発に努める。

2.2.3 普及啓発事業：受託事業

現在受託テーマは無いが、積極的に受託テーマの取り込みを検討する。受託事業管理委員会にて管理する。

2.3 安全工学に関する調査研究及び情報収集提供事業

維持会員、賛助会員の安全に資する活動に注力する。

ホームページを充実させ、会委員への情報提供を推進する。

2.4 安全工学研究の奨励及び研究活動等の表彰

- ・学会賞授与 安全工学に貢献した優秀論文、功労者を表彰
対象 安全工学論文賞（1-2 件）、北川学術賞（1-2 名）、玉置功労賞（1-2 名）、奨励賞（1-2 名）

2.5 安全工学に関連する国内外の団体との連携及び協力

安全工学に関連する学協会に加入し、情報を得ると共に安全工学の発展のために協業を模索する。国際的には、APASES（Asia Pacific Association of Safety Engineering Societies, アジア太平洋安全工学学協会連合）に参加。

① 諸会費

（社）日本工学会、高圧ガス保安協会などに会員として加入

② 安全工学シンポジウム 2014（第 44 回）

開催月日：平成 26 年 7 月上旬 2 日間

開催場所：日本学術会議

主 催：日本学術会議

幹事学会：日本建築学会
共催：安全工学会ほか 34 学協会

2.6 管理業務

- ① 総会 1 回開催
開催月日：平成 26 年 5 月
開催場所：化学会館
- ② 理事会 4 回開催
開催月日：平成 26 年 5 月
平成 26 年 7 月
平成 26 年 11 月
平成 27 年 3 月
- ③ 評議員会 1 回開催
開催月日：平成 26 年 5 月
- ④ 監事会 1 回開催
開催月日：平成 26 年 4 月
- ⑤ 委員会
総務委員会 2 回開催
企画委員会 4 回開催
- ⑥ 見学会 2 回開催
開催日：平成 26 年 9 月予定、平成 27 年 3 月予定
見学先：未定
参加予定人員：安全工学会の会員 各回 30 名

以上